

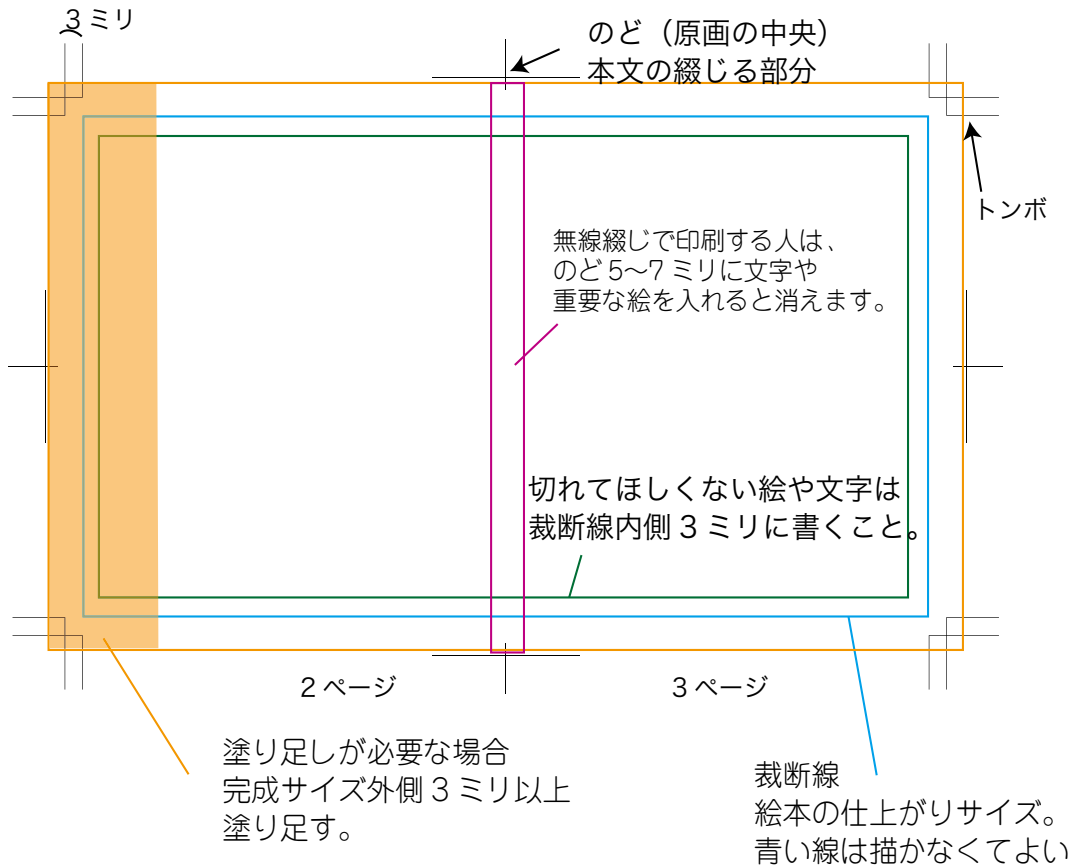
絵本を描くうえで、しっていて欲しいこと

絵本原画は2ページ=1見開きとして描きます。データ入稿も同じです。

必ず原画に「トンボ」はご記入ください。完成サイズ・中心の「のど」の位置がわかるように書いてください。薄い鉛筆線でOKです。

※扉（1ページ）と奥付（32ページ）は見開きで描く必要はありません。

見開きページの原画の描き方



● 注意点

文字位置下げる



背景色だけでなく、登場人物などをページ外側までいっぱい描きたい時は、塗り足し部分（裁断線外側）まで人物線を描いてください。

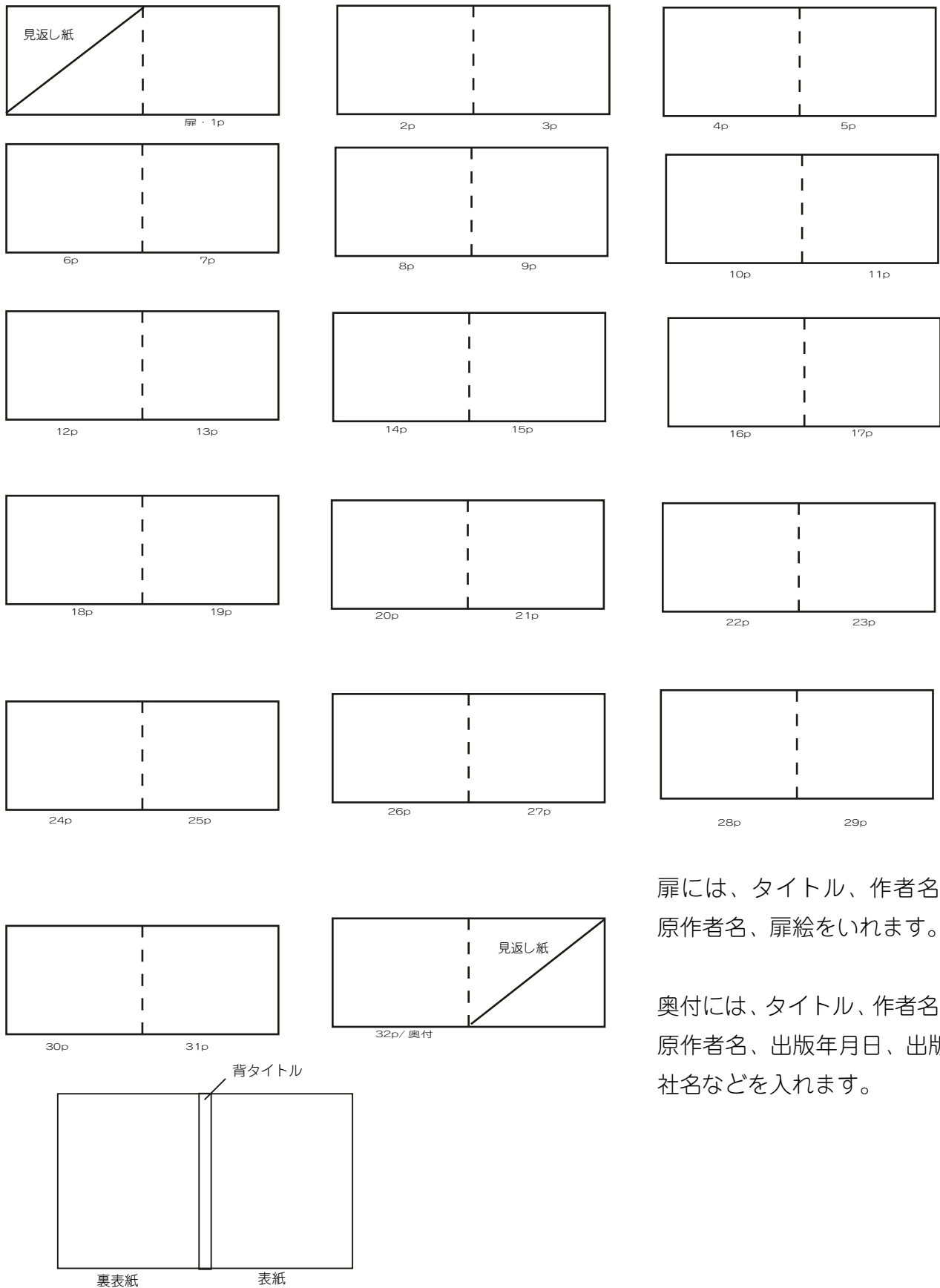
「手書き文字」で文章を書く場合は、原画に直接文章を書いてもよいです。

「活字」（パソコン文字）で文章を書く場合は、原画の上にトレーシングペーパーをかぶせ、トレーシングペーパーに文字を貼り込んでください。

トレーシングペーパーは、原画の裏側にメンディングテープでずれないように止めてください。原画の表側にはテープをつけないで！

●ページの割付・ストーリーボード

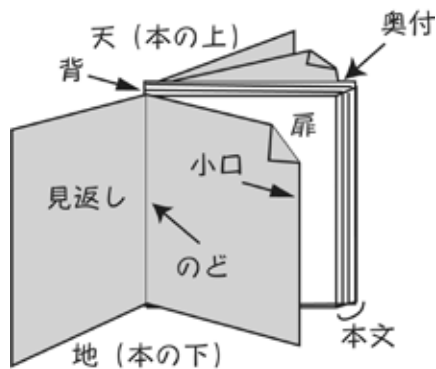
文章横書きの場合、本文ページは以下ようになります。見開きページからスタートすると、1 ページ目が空白になります。



扉には、タイトル、作者名、原作者名、扉絵をいれます。

奥付には、タイトル、作者名、原作者名、出版年月日、出版社名などを入れます。

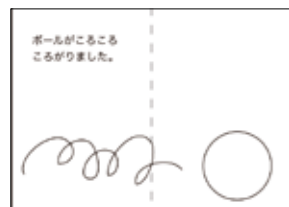
●本の構造



- 天・・・本の上の部分。
- 地・・・本の下の部分。
- 小口・・・本の開く側。
- 背・・・本のとじられた側。
- のど・・・本のとじられた側の中側。
- 見返し・表紙と本文をつなぎ止める役目をする紙。
- 扉・・・本を開いたときに入るタイトルページ。
- 奥付・・・本の一番うしろにある定価や発行所などを記したページ。

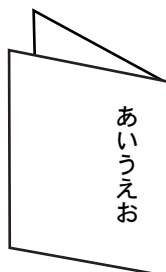
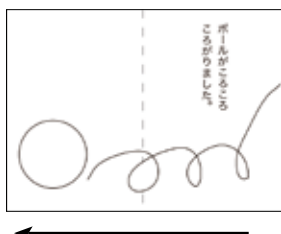
●本のとじ方

左とじは、^{よこが}横書き ^{ぶんしょう}文章 ^{でき}に適しています。一般的な絵本のスタイルです。



ストーリーは、左ページから右ページへ展開していきます。

右とじは、^{ぶんしょう}縦書き ^{でき}文章 ^{でき}に適しています。民話絵本などに適しています。



ストーリーは、右ページから左ページへ展開していきます。

●印刷の種類

オンデマンド印刷

1～300冊以内の少部数印刷にむいています。好きな冊数を見無駄なく印刷できます。カラーコピーのように、1ページあたりの印刷料金が決まっているため、たくさん印刷しても単価は安くなりません。32ページ絵本の印刷はオンデマンド印刷です。

トナー印刷のため、印刷に光沢感があります。

オフセット印刷

300冊以上の印刷にむいています。刷れば刷るほど1冊あたりの単価は安くなりますが、部数が少ないと、色校正出力などの費用が高く逆に割高になります。

印刷しあがりはマットです。

原画彩色その前に 知っておきたい 印刷&コピー知識

絵本は印刷した本が完成作品です。

原画と本がなるべく近い色になるにはどうすればよいのでしょうか。

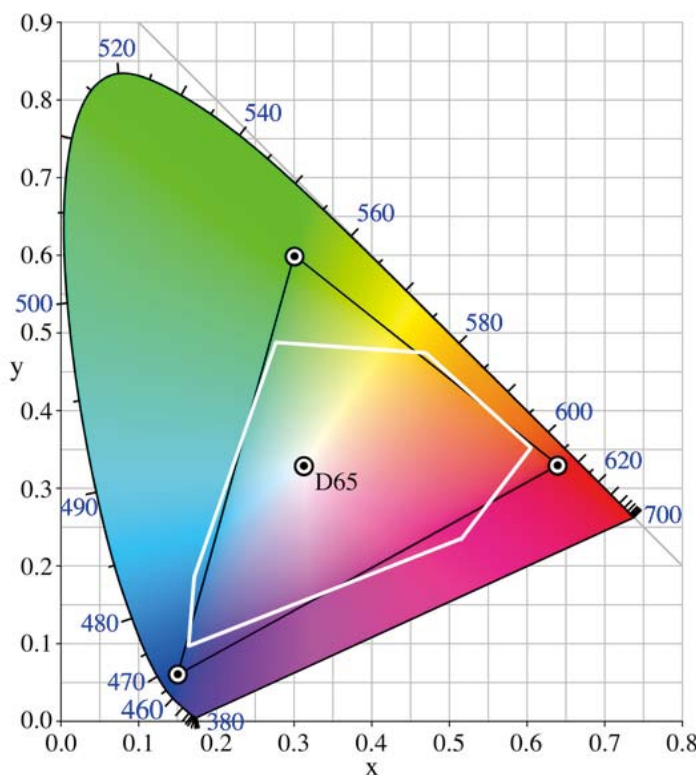


1. 印刷で使う色について

印刷機やコピー機で使う色は、「青（シアン）」、「赤（マゼンダ）」、「黄（イエロー）」、「黒」を複雑に混ぜて表現しています。絵の具や色鉛筆の画材の色に較べて、印刷で表現できる色数には、限界があります。

ます。

インクや紙の特性上、CMY のインクを混ぜて綺麗な黒色を作るのは技術的に困難であり、通常はすべてを混ぜても濁った茶色にしかならない。そこで、黒（Key plate）の発色をよくするために別途黒インクを用いるようになったのが CMYK です。



黒い三角形の内側は、テレビモニターやデジタルカメラで表現できる色。

白い線の内側が、印刷やコピーで表現できる色。

印刷が苦手な色

- ・ 緑系
- ・ 紫系
- ・ オレンジ系
- ・ 淡い色 プロセスカラー 10%以下
- ・ 薄い茶系

特種なインクでないと表現できない色
(通常の印刷では使わない色)

- ・ 蛍光色
- ・ 金色、銀色、白色

(印刷で白色は、色を塗らずに、紙の色で表現しています)

発色しやすい色

- ・ シアン、マゼンダ、イエロー
- ・ 黒色

ポイント

絵本だからといって、一つの場合の原画にたくさんの色数を使うと、それだけで印刷機の色調整が難しくなります。(カラーコピーも同じ)

色校正に時間がとられて、思いもかけない費用がかかったりします。

オンデマンド印刷機では、蛍光色、金色、銀色、特色印刷はできません。

(黒い紙の上に白インクで印刷して欲しいというご要望がよく来ますが、できません。)

2. 色飛びする淡い色

絵本をパステルカラーで仕上げる人も多いのですが、全体的に淡い色彩を多様すると、色がキレイに印刷できません。自分が思っているよりも、濃いめに色を彩色するようにした方がよいです。

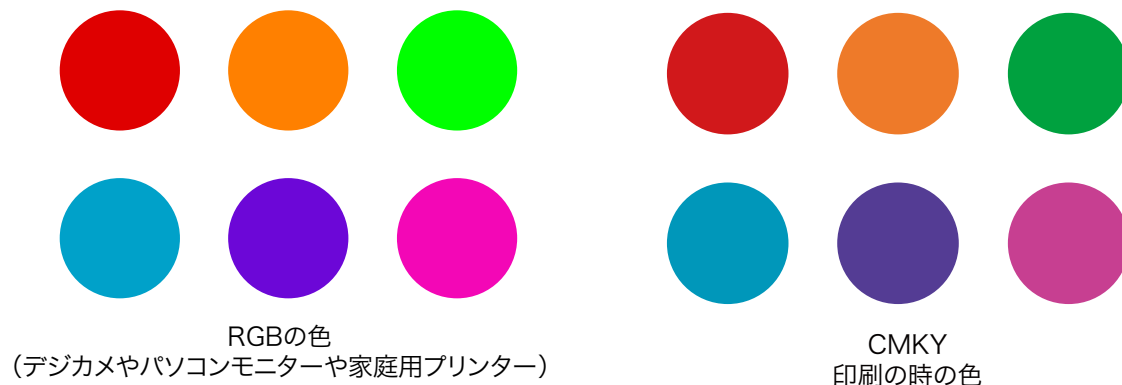
10%以下の淡い色で原画彩色すると、印刷では色がでないので注意してください。

シアン	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
マゼン										
ダ										
イエロー										
黒										

3.RGB と CMKY の色の差

まったく同じ色でも、印刷したときには、違う色になります。それをあらかじめ考慮したうえで彩色や色の指定を行ってください。

下の色の差は、同じ色をパソコンモニターで見ているときと印刷したときの差を表現しています。



RGB 設定では、透明感のある色ですが、印刷すると黒っぽく不透明な色になります。

だからといって、色を薄くぬると、印刷したときに全く色が出ないこともありますので要注意です。

原画入稿されるお客様は、一度、ご自分の作品をカラーコピーしてみると、印刷した時の雰囲気仕上がりがわかります。コピーをしてみると、彩色が薄くて、色がなくなってしまう箇所もよくわかります。入稿前に、一度、カラーコピーをしてみることをおすすめします。